

港区立赤坂区民センター
指定管理者候補者選考委員会
報 告 書

令和5年7月4日

港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会

目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	2
II	選考経過について	3
III	選考対象者について	6
IV	選考結果について	6
V	最終選考結果について	8

はじめに

本報告書は、港区立赤坂区民センターの指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過及び結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立赤坂区民センター指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、区民センターの設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立赤坂区民センター指定管理者候補者の公募に対し、1事業者からの応募にとどまりましたが、当該事業者からの提案は、現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた優れた提案であったため、指定管理者を公募した目的は十分達成されたものと感じています。

選ばれた候補者には、港区立区民センター条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮し、パートナーである区と連携・協働して、区民サービスの向上につなげていくことを強く期待します。

令和5年7月4日

港区立赤坂区民センター
指定管理者候補者選考委員会
委員長 白石 賢

I 選考した指定管理者候補者について

1 指定管理者候補者

名称	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団
代表者	理事長 田中 秀司
所在地	東京都港区赤坂四丁目 18 番 13 号

2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立赤坂区民センター	東京都港区赤坂四丁目 18 番 13 号

3 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年）

4 選考の理由

- (1) 公共施設の管理運営実績や事業実績が多数あり、十分な経験及びノウハウを備えており、施設長候補者においても、緊急事態宣言下での施設運営や自主避難所の開設など、多種多様な業務を経験し、施設のディテールを詳しく把握していることから、安定した施設運営が期待できます。
- (2) 赤坂地区の人口構成の分析やこれまで行ったイベントのアンケート結果から、子育て世代への場の提供を課題として捉え、「0才からのファミリーコンサート」や創作ワークショップ、親子講座を提案するなど、地域の特性の分析や利用者ニーズの的確な把握に基づいた具体的な提案が評価できます。
- (3) 地域商店会と協働し、ハロウィンイベントとして仮装コンテストや映画会を開催するほか、大使館と連携して異なる文化と触れ合う国際交流講座の開催、赤坂図書館と連携して乳幼児室に「なかよし文庫」を常設するなど、区民センターを地域の拠点として捉え、地域住民や関係団体と意欲的に連携する具体的な提案が評価できます。
- (4) 人材育成に力を入れており、専門家を講師として招いた研修やオンラインなどの活用により、職員の継続的なスキルアップに取り組むほか、職員の処遇改善など、人材確保や職員の定着率、各種事務にかかる本部のバックアップ体制も充実しており評価できます。
- (5) 様々な危機に対して的確に対応するため、個別具体的な対応が示された危機管理マニュアルに加え、区と連携して災害発生時の対応を適切に行うための災害対策マニュアルを策定するなど、施設利用者の安全確保に関する取組について実現性・信頼性があり評価できます。

II 選考経過について

1 選考の方法

(1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者として1事業者を選考しました。

(2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを併せた)総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

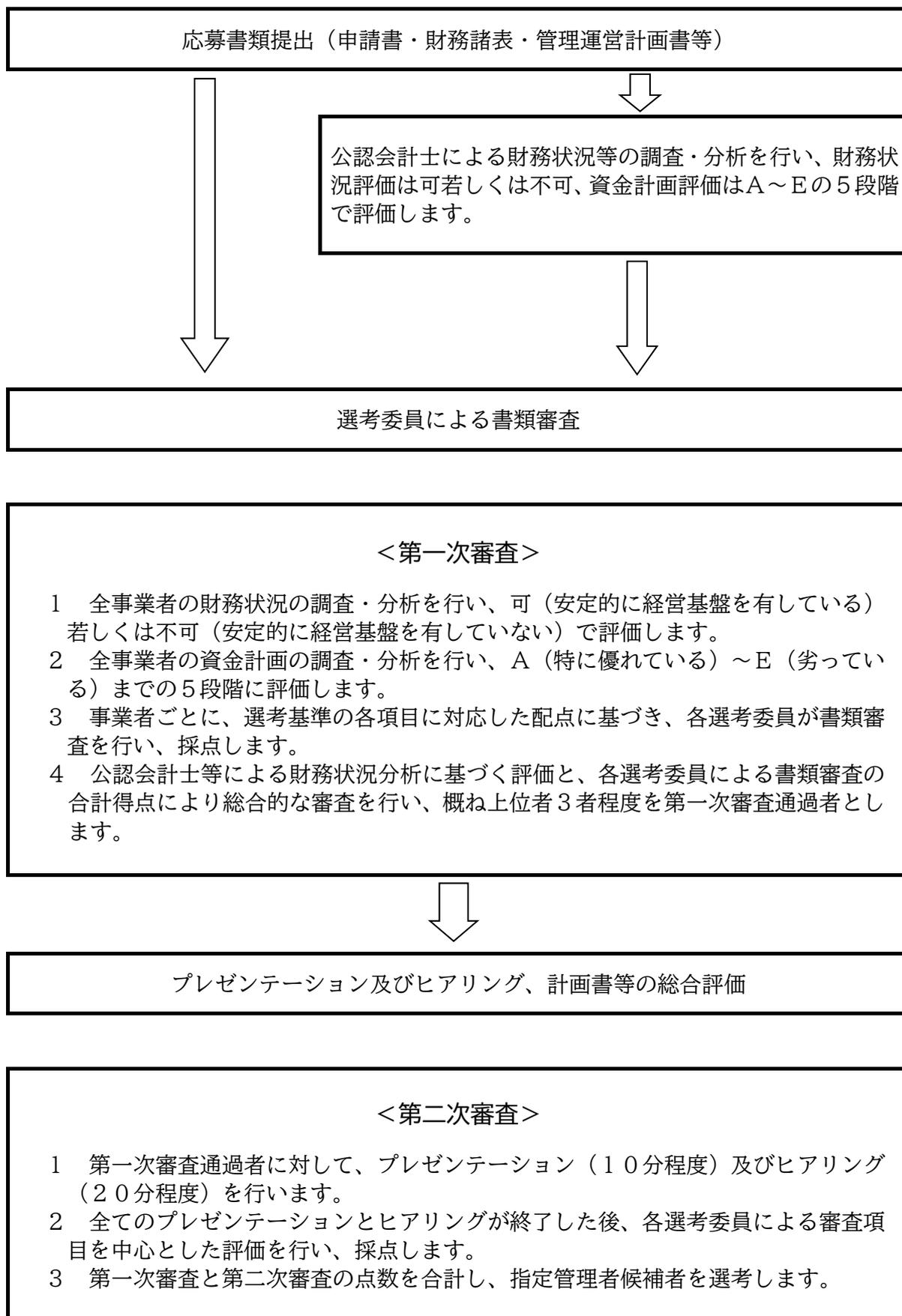
2 選考委員会の構成

委員長	白石 賢	東京都立大学都市環境学部教授
副委員長	中島 博子 (令和5年3月31日まで) 新宮 弘章 (令和5年4月1日から)	港区赤坂地区総合支所長
委員	岩崎 克也	東海大学建築都市学部教授
〃	黒田 美亜紀	明治学院大学法学部教授
〃	沼倉 賢司 (令和5年3月31日まで) 櫻庭 靖之 (令和5年4月1日から)	港区高輪地区総合支所管理課長

3 公認会計士

Cenxus Consulting 株式会社	平山 友暁
------------------------	-------

4 選考の進め方



5 選考委員会等の開催状況及び経過

(1) 第1回選考委員会

日時	令和5年2月7日(火曜日)	10時50分～11時20分
場所	オンライン会議	
議題	委員の委嘱について 委員の紹介について 選考委員会の運営について 委員長選出について 公募要項(案)について 第1次及び第2次審査基準(案)について 今後のスケジュールについて	

(2) 公募手続き

ア 公募要項説明会	令和5年2月28日(火曜日)
イ 現地見学会	3月1日(水曜日)
ウ 申請受付	2月20日(月曜日)～5月26日(金曜日)
エ 質問書受付	2月20日(月曜日)～3月3日(金曜日)
オ 質問への回答	3月17日(金曜日)

(3) 第2回選考委員会(第一次審査)

日時	令和5年6月15日(木曜日)	18時45分～19時20分
場所	オンライン会議	
議題	財務状況等分析結果の報告について 第一次審査通過事業者の決定について 第二次審査基準について(プレゼンテーションについて) 今後のスケジュール	

(4) 第3回選考委員会(第二次審査)

日時	令和5年7月4日(火曜日)	11時00分～11時50分
場所	港区高輪地区総合支所4階会議室A・B	
議題	第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング) 候補者の決定について	

Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団	東京都港区赤坂四丁目 18 番 13 号

Ⅳ 選考結果について

1 第一次審査

(1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

ア 財務状況評価

法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

イ 資金計画評価

法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の実現性、事業計画との整合性、経費見積もりの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

(2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金計画 評価	合計点数 (1,050 点満点)
1	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団	可	A	769

※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

A：特に優れている、B：優れている、C：普通、D：やや劣っている、E：劣っている

(3) 選考経過

各委員が各候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
公益財団法人港区 スポーツふれあい 文化健康財団	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営実績として、類似施設を多数運営しているため安定した施設運営が期待できる。 ・地域の特性を理解し、地域の一員としての考えがしっかりしており、地域や関係団体との連携した具体的な事業提案が評価できる。 ・利用者からの声やアンケートの結果などから利用者ニーズを把握し、それを事業展開に生かす仕組みができています。 ・デジタル活用が苦手な利用者に対する対応が具体的に記載されており、利用者に配慮のある提案が評価できる。 ・施設長候補者は、同種の施設の管理運営を3年以上経験しており、民間企業でも労務経験があるため、信頼性がある。

以上の点を総合的に勘案して、採点集計表のとおり1事業者を第一次審査通過者としました。

2 第二次審査

(1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過1事業者が10分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき20分のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

(2) 採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数をもとに順位付けしました。

順位	事業者の名称	総合点数 (1,550点満点)	第一次審査点数 (1,050点満点)	第二次審査点数 (500点満点)
1	公益財団法人港区 スポーツふれあい 文化健康財団	1,137	769	368

(3) 選考経過

各委員が第一次審査通過1事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
公益財団法人港区 スポーツふれあい 文化健康財団	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の管理運営実績や事業の請負実績が多数あり、十分な経験及びノウハウを備えており、安定した施設運営が期待できる。 ・ 子育て世代への対応など、地域の特性や利用者ニーズを理解した具体的な事業提案が評価できる。 ・ 地域商店会や大使館、図書館等と連携した事業提案があり、区民センターを地域の拠点として捉え、地域住民や関係団体と意欲的に連携していこうという姿勢が評価できる。 ・ 人材育成に力を入れており、研修制度が整備されている。また、職員全体の処遇改善にも取り組んでおり、新たな人材確保と職員の定着率向上も見込まれ、質の高い施設運営が期待できる。 ・ 様々な危機に対し、的確に対応するため、個別具体的な対応が示された危機管理マニュアルに加え、区と連携して災害発生時の対応を適切に行うための災害対策マニュアルを策定している。また、不測の事態に備えた職員配置を計画しており、利用者の安全確保に実現性・信頼性がある。 ・ 施設長候補者が業務をよく把握しており、また、質疑応答に誠実に答えているところに、施設長としての意欲と安定感が感じられる。

V 最終選考結果について

最終選考結果

選考委員会の総意として、「公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団」を港区立赤坂区民センター指定管理者候補者として選考します。